

新潟県 公民館月報

昭和41年11月号(通刊第165号)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室内】

【電話・(新潟)(23)5511 内線691】

【振替 新潟 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄

編集人 事務局長 本田 清

昭和41年11月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価1部18円 年共・年毎216円】

菊

その花は

人々のかおりたかみ散智

その花片は

裂傷の天へひらき

陰翳のまなざし

翔るまなざし

まぶしく集う散智は

十一月の天は

とめどない ひかりの

祝福

越原 九



第15回全国大会(山形)終わる



全国大会 優良公民館職員表彰式

法改正へ決議

本県からは60名の参加

第15回全国公民館大会(公民館のあるべき姿と今日の指
 大会は十月十二日(標各論議案)の県の研究委員会の
 ら十四日の三日間、討論資料をもとに、今日程を、熱
 山形市で、二千余名、心に参加した。

の参加者をもって開 第一日(記念式典)には、横山
 催された。本県か 旭三郎氏(加茂市公民館長、本会
 らは、吉津会長以下(理事)と本会事務局長本川清氏は
 六〇名の参加者がある、それぞれ、公民館優良職員表彰と
 り、事前に配布した、功労者顕彰の栄を受けた。

そのあと、全体集會、専門委
 (試案)を中心とした専門調査研
 究部会を各々八部会に別れて、
 研究討論

第三日は、全体集會と社会教
 育施設見学をしてそれぞれ散会し
 した。

去る五月館長に就任したばかり
 まな公民館一年生の私にとつては
 あらゆる機会に研修したいものと
 山形大会には是非参加したいと思
 った。

然し和田主事の話によると市当
 局では各部門の全国大会というも
 のを一種のお祭りさむぎと見なし
 その出張をあまり喜ばないと、こ
 と、そこで私は来年はとにかく今
 年は下からの積み上げ研修の意味
 で是非参加したい当局の許可が出
 ないのなら是非は自己負担でもよ
 いかなと、なごやかなうもくもく
 いかにこの態度で交渉したとこ

立という内容共感される幾多のも
 のがあった。

第一日の中心は大会講師による
 毎回の如く取り上げられながら一
 事の内容の如く、近現代化による
 山形新聞片岡論議委員の「こうし
 終らせては大変である。何が何で
 も向かの収穫を持ち帰って明日か
 もは農民の土地に対する執念で
 現の手許に届かず、腐敗各省の課長
 の机の中に眠
 ている。もつと
 国会を動かさね
 は駄目だ」との
 痛論があり全く
 その通りと思っ
 た。

万才三唱後、
 痛論があり全く
 その通りと思っ
 た。

下からの

盛り上げに決意

俵山喜秋

ある。結局これを打破するものは花笠音頭崩しのフィナーレに送
 生座でなく中味人間が近代化するられながらよし私も明日帰った
 ことという結論である。なかなか 早速市長を議員に協力し働きかけ
 難しい問題であると思つた。

最後に大会宣言が発表可決されようとして固く決意して会場を後にし
 た。

宣言決議

社会開発の基盤となる人づくりのため、
 地域における社会教育の中心施設としての
 公民館の使命は、きわめて重大であること
 はいまさら多くをいう必要がない。

しかるに、公民館の人的、物的諸条件は
 関係者多年の要望にもかかわらず未だ整備
 されず、法的措置もまた甚だ不十分である
 ことを痛感する。いまにして公民館振興の
 ための抜本的施策が講じられるのでなけれ
 ば、社会開発という重要国策もその真価を
 発揮し得ないことをおそれる。

われわれ公民館関係者は、ここ山形に相
 集い記念すべき第15回全国公民館大会にお
 いて、「住民の要求にこたえる公民館のある
 べき姿と今日の指標を確立し、その活動を
 盛んにするための方策」を研究討議した
 結果、さらにその使命感に徹し、新たな
 構想と旺盛な意欲とをもって任務の遂行に
 邁進することの決意を固くするとともに、
 つぎの事項が速やかに実現することを要望
 する。

記

1. 施設・設備の整備について
 - (1) 公民館を義務設置とするよう、法を改正すること。
 - (2) 施設・設備を充実するための国庫補助金を定率補助をなし、起債許可額を増加すること。
2. 職員の充実について
 - (1) 公民館主事の身分および資格を確立し、必置するよう、法を改正すること。
 - (2) 公民館職員の待遇を根本的に改善するために必要な財政措置を講ずること。
 - (3) 公民館職員の資質を向上し、視野を広げるための研修と内外にわたる視察見学の方途を講ずること。

昭和41年10月13日

第15回全国公民館大会
参加者一同

よしのずいから印象記

神奈川県立図書館視聴覚課長

関 品

活かされた融和性

合同研究「教育の現代化をめざす視聴覚教材の活用」の主題で開かれた合同大会は、参加者が中心で教材教員がある——という教育成立の基本条件の上で立つて、視聴覚教育の一般化、日常化が学校、社会、産業界の各分野にわたって、三部門の自然一体化で説かれ、三部門の定並みが始まるとのスタートの足並みも揃わせた。各壇登壇者の抱負もまたことながら、企画者・中原氏の構成的的確さに負うところが多い。

百花繚乱の公開学習

十三教室で行なわれた公開学習であれば、教室設備は決して理想的でないにもかかわらず、多くのAV教材を駆使して、主題もかなり正確に展開された。こうした公開学習が明日の視聴覚教育の一般化に直結することを願ってやまないものである。

社会教育部門ア・ラ・カルト

樹いおして出られた小川一郎氏のオリエンテーションは、氏独自の熱を帯びた方向づけが多くの示唆を与えた。しかし、ある課題については日替の氏の考えを完全に出し切らず遠慮していた点もあるようだ、大会の方向づけに歩調を合わせたのであろう。

さんにはば館長さん

西蒲原郡弥彦村公民館長

佐藤耕平氏



全体発表はそれぞれ特徴ある事体、会社工場、学校等々所有の映像で参考になったが、「十六ミリ写機が自己の責任において管理できる」の取扱いならびに登録等にきないもので、どうして自主的社会的教育が確立されるか、いわゆるAV教育の一般化を決定して芽感強い。いままでもなく発社、生えないう。誤解されると困るが、「十六ミリ映写機講習会」の三号にこの場を差した十六ミリ映写機製作免許制は「ナトコ」映写機と「USIS映画」に限られる。

パネル討議「AVLはAVEの相互教育であり、話し合ひ学習など発展的の様な役割を果たすの自主性が尊重されてきた」とりかたは、社会教育三部会十四分科の自主性が尊重されてきた。とりかたは、社会教育三部会十四分科の自主性が尊重されてきた。とりかたは、社会教育三部会十四分科の自主性が尊重されてきた。

パネルのミックス討議で、参加者社会教育部の特設の一つであったと交流が気の薄であったのも余り熱があらなかった証左である。揚子定をどうしようか恐縮であるが、「三十二年鳥取県における地方自治法によるAVL設置が、AVLの条例、規制化の始めである」との説明は明らかに間違っている。

ついでながら「合同大会要項」四六P(昭・二三)に都道府県社会教育主管課に視聴覚教育施設とあるが、「都道府県立中央図書館に視聴覚ライブラリー設置」された事項が脱落している。これは日本の社会教育におけるAVLの起源である事実を「戦後の視聴覚教育団」が見逃すことは、オオミスライクである。

郷土愛へつながる AV自作
AV教材自作分科会は本大会社。

観光地や新都市の社会教育、市町村で弥彦の公営結婚をひなはむつかしいと云くが、全国に形にした所も多い。佐藤館長知られた観光地弥彦は、その例、長は歴代館長の後をうけて、司を振って、よくおやりなのに驚く。

弥彦の玄関駅近く、テラックスな体育館に同居している公民館にいつお伺いしてもおられる。佐藤耕平館長、この館長さんが非常勤館長なのだから、なおおおくおに五十歳にして、みなさるフアイトは、青年の教育に、婦人の指導に、スポーツの面に素晴らしい成果をあげている。ない弥彦の公民館長、佐藤さん神社のおひまもとたに、公は善い若者をのべ元気である。(種口記)

県広報コンクール 実施要項

- 県広報協議会では、毎年行なわれている県広報コンクールを、本年度も実施することになった。各市町村公民館も、館報を多数応募して欲しい。
- 一、趣旨 県市町村における広報技術の向上に資するため、広報媒体の実態を、審査選考し、広報行政の健全な発展に寄与することを目的とする。
 - 二、主催 県広報協議会、県教委県公運他
 - 三、審査選考の対象 市町村および公民館等が広報を目的として発行、または製作した広報紙、広報写真とする。
 - 四、参加規定
 - ① 広報紙 昭和41年1月1日から12月31日までの間に発行した広報紙のうちから一点(ただし、審判用として同号二〇部提出のこと)
 - ② 応募作品には「第四回新潟県広報コンクール参加紙」と添書すること。
 - ③ 区分は市の部、町村の部の二区分にする。
 - ④ 次の参加作品調書の一部添付すること。広報紙名、発行日、発行部数、担当若者、年間経費および一部当り経費(特筆を除外)
 - 五、作品送付先 新潟市学校町一、新潟県文書広報課内 新潟県広報協議会 六、ノ切
 - 七、審査発表 昭和41年1月7日
 - 八、① 広報紙 市部と町村部に分け、それぞれ一位から三位までをおもい佳作若者を表彰するほか、各部を通じて、優秀作品一点は最優秀賞を授けよう。
 - ② 広報写真 優秀作品三点までを表彰する。
 - 九、入選作品のうちから全国広報協会主催の昭和四十二年度全国広報コンクールに県代表として送付する。

青年の家建設予定地の調査

粕川 正之

青少年健全育成のための拠点として、県内に新しい青年の家を建設する必要があるというところを、松原前教育長が免職されるや、ほ地の調査を実施した。名のりをおとす期を同じくして長岡市、安けた各地は自然環境としてそれぞれ、田町、弥彦村、黒川村、真江津市、若れ進ったよきがあり、いずれも5市町村が、誘致の名のりをおとすはらしいところであった。しかし

十日町市公民館に

文部大臣表彰

文部省では、恒例の社会教育活動の推進に大きく成果をあげた、全国の優良公民館十四に対して、十一月三日文化の日、第十九回表彰式終了後、皇居を拜謁し、天皇陛下のお言葉を賜わった。優良公民館の表彰として大臣表彰をした。

本県からは十日町市公民館が表彰され、十日町市中村教育長と須藤館長補佐が、表彰式に参列した。名のりをあげたことには、おそらく他県に類をみないことであろう。このことは県内に青年の家の絶対数が少ないことが最も大きな理由と考えられる。しかしその反面それだけ社会教育が住民および理事者に認識されたと考え、もよみではないかと思

課青年の家は現在新潟市に一方所あり、青少年団休、グループ・サークルがよく利用している。しかし施設が貧弱で、とくに体育、レクリエーションの設備がないことは、青年の家にとつては致命傷ともいえる。広大で眺望のきくすばらしい環境で、近代的な設備を整えた新しい青年の家、研修の中にキャンプ、スキー、ハイキングなどの日程を組みこまれ、のびのびと勤労青少年が研修をして帰る……こんな夢が一日も早く実現することを祈るこのころである。

（県教育庁社会教育室）

農家にマッシュルーム栽培を普及

西山町公民館

刈羽郡西山町公民館では、婦人会と連携して、マッシュルーム（西洋松茸）栽培を、地域の農家に普及させるため、今年から、栽培方法を、婦人学級に取り入れ、着々と成果をあげている。マッシュルーム栽培は、輸出農産物として、各地に盛んになされるようになったが、西山町では、ハカギツ子のいなけい明の家、隣つくりのためにも、マッシュルームをつくらう。V A主婦の重労働をなくして農閑期の収入をあげるマッシュルームの栽培を、自家用としてもらう。A家庭の主婦が家庭にいなから、年寄、子供とみんなで努力できる。V Aの呼びかけではじめたもので、いまは、秋作の収穫で、大むらわることだ。

全国表彰をうけて

加茂市公民館長

横山旭三郎



いと妻の涙に、それこそ人間性をとりもどした如く何とやらねばならないと誓った。

今般にかさず山形における全国公民館大会の席上、表彰をうけました。誠に恥ずかしいものだが、この光栄をうけましたことは吉津市長さん他同志の方々の御指導の賜物と、またたき御礼中すべし他ありません。二三人の大家の前で頂いたのですが大した感動もありませんでした。ところが夕食時の新潟県人四十余名の慰労懇話会になつて、感激した。二月ほど前からツイスキーが飲めない身体になつていた自分が、久しぶりに病氣も忘れ同郷同志の方々とくみ交した酒の味のよさに酔いつぶれた。山寺と、羽黒山まわりの年米の楽しみに待つて同行した妻が「涙が出たわ」とそとをさやいた時、無性になつた。十年一日の如く如く公民館に奉仕したといわれないうつ、十年、七十日の如くゆつくり歩いた自分も功績何か所感をあせ、横山氏の御厚意つないことを忘れ、同志の御祝に御礼申し上げます。

お茶ッピィ子

23. 物的合理議批判 うつきがす



まきく
もっらふふい
ホヤッ
さこん
にこほ
……
まきく
もっらふふい
ホヤッ
さこん
にこほ
……
まきく
もっらふふい
ホヤッ
さこん
にこほ
……
まきく
もっらふふい
ホヤッ
さこん
にこほ
……

殿様の茶の間

山田良平

ことし米沢市へ出かけて来た。使用品をいれるということだ。をなえりみると、なんとうりやましい限りである。単位団体の動きが、古風な日本建築で風格あるものが、古風な日本建築で風格あるものだった。

このなかで一番感心したのは、この立派な建物と盛園が公民館に

(相崎日報 記者)

特別職としての

公民館主事

小林美鈴

月給どりの公民館主事では、今の社会環境の中では、とてその目的を達成することは出来かねる。なせなら、社会教育法という購買定数を示し得ない「初通し」のよきものに守られて、しかもその身分は道庁公務員といった最も低い身分と、待遇で、公民教育のよき推進軸になれるわけはない。

各公民館において、それぞれ活動を展開され、社会教育の地域の特性を生かした社会教育家庭学級、婦人学級、青年学級、

十年前の青年会

宮川和子

小生の青年会入会時の活動状況行なう地区連書の球技大会をなをなえりみると、なんとうりやましい限りである。単位団体の動きが、古風な日本建築で風格あるものが、古風な日本建築で風格あるものだった。

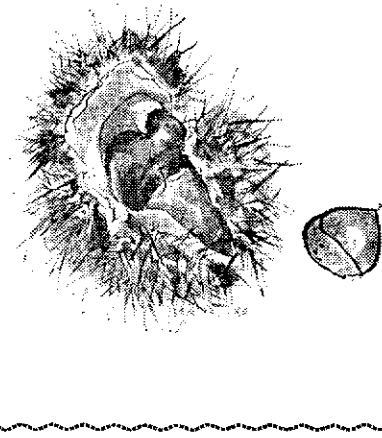
い出すと、リリーとあって見てたせあのころのような会員の動きが見られないのが残念でならない、時代の流れとはいえ何か特別薬なる注射でもないものかと毎日考えてやまない。

今日の「デーマ」は髪セット、髪し合いは沢山して来た。料理がです、合唱したあと、みんな美しくなりたいから、一生けんめいである。

簡単にカコいい型を作るため座敷に大きな鏡を出して、始めからゆい始める器用な奥さんである。もう七年も続いた隣組訪問集も

(直江津市五福地区婦人会長)

読者コーナー



鳥越憂

公民館月報が

テキストに

鳥越憂

等々、各種講座、事業が行なわれ、御同慶にたえません。出来れば公民館月報の一言が各公民館の各種講座のテキストとして使用できる一般参加者が理解しやすいものを専門家の手で掲載され、それを使用することになれば、効果のあるものができるのではないかと思っています。

近ごろの黒い髪には何ともいえないかという噂が人間つくりを遠くか家庭の教育振興につながり幸福につながるものである。人をきかえ命であるのではない。足を差が失格者をつくり社会を賑わしている。

月報なつかしく拝見しています。増井大校長の天活やく頼もしい吉津会長のソ連観音で苦労さま。丸山、安沢元会長元氣なさん。村上の小林助役さんの寸言相変らしようか、海原町長、甲田所長、成三二年一度くらいは談笑したい味のあるこいいますね。豊栄、伊藤先生も、高田の矢島、見附のものですね。

す、頑張ってください。山田、高橋、松本氏大会社部長として張切ってください。直江津市福祉事務所 所長

未完の人間性

豊田基太郎

近ごろの黒い髪には何ともいえないかという噂が人間つくりを遠くか家庭の教育振興につながり幸福につながるものである。人をきかえ命であるのではない。足を差が失格者をつくり社会を賑わしている。

なつかしの公民館人

梅山八十二

月報なつかしく拝見しています。増井大校長の天活やく頼もしい吉津会長のソ連観音で苦労さま。丸山、安沢元会長元氣なさん。村上の小林助役さんの寸言相変らしようか、海原町長、甲田所長、成三二年一度くらいは談笑したい味のあるこいいますね。豊栄、伊藤先生も、高田の矢島、見附のものですね。

(直江津市福祉事務所 所長)

秋の行事花ざかり 巻町の文化祭

十一月は、各地でも、毎年の年中行事である、秋の文化祭が行なわれます。西蒲原郡巻町では、公民館を主会場に十月の下旬から十一月下旬にかけて、約一カ月間、多様な行事がくりひろげられています。ことしは、新しい行事として、屏風展や町内音楽祭、多岐長祭仮装大会、民謡流しなどもあり、それぞれの会場、地域に、特色あるものをみせています。また、注目すべきことの一つには、毎年、分館巡回文化展として、七つの分館を、その文化祭開期中に、それぞれ巡回して、地域のすみずみまで浸透するように心がけていることです。地域住民にとって、有意義なまた、たのしい一カ月間ですので行事の内容を、参考までに、掲載いたします。

昭和41年度 公民館運営研究会要項

- 趣旨 市町村における社会教育の振興をはかるためには、そのセンターとしての公民館の健全な充実発展をまたねばならない。公民館運営について当面する具体的な問題について研究協議し、公民館活動の刷新強化を期したい。
- 主題 公民館の今日的使命は何か、それを果たためにはどうあらねばならないか。
- 主催 県教育委員会、県公民館連合会、田上村教育委員会、南蒲原郡公民館連絡協議会
- 日時 11月29日(火)～30日(水)
- 場所 南蒲原郡田上村公民館
- 参加者 市町村公民館長、公民館主事、職員、公民館運営審議会委員

- 内容
 - 講演 「公民館について私はこう思う」
 - 状況報告 「本県公民館の現状と課題」
 - 現状発表 (地元市町村長、教育長)
 - 部会、分科会……主題について
 イ 館長部会
 ロ 運営委員会
 ハ ニ 主事部会
 A (都市部)
 B (村部)
 A (都市部)
 B (村部)
 - 全体討議
- 講師 (山形県山形新聞論説委員 片岡潔氏)
- 助言者 県社会教育課長 土肥博 ほか県社会教育主事

10. 日程	
9	10
受付	開会
公民館の現状発表	昼食
部会・分科会	講演
部会・分科会	報告会
部会・分科会	閉会
部会・分科会	閉会

- 参加費 宿泊料 1,500円
- 参加申込 次の様式により11月20日までに各教育事務所へ提出。

市町村公民館名	職氏名	希望分科会	宿泊希望の有無

3~7月	2~3月	1~3月	1月	10月	30~11月	30日	30日	29~30日	27~29日	24~26日	23日	23日	日
木	水	火	火	十	日	日	日	土	木	月	日	日	日
菊	松野尾菊	華道	多賀良祭	十	蘭万年青	町民ハイキング	県高校駅伝大会	書高文化祭	石塚松太郎	屏風	町民野球大会	町民茶会	日曜日
展	展	展	典	月	示	ケ	大会	展	展	展	大会	会	場
社	校	館	社		務	山	南浦下田村	巻公民館	巻公民館	巻公民館	巻公民館	三笠屋	

あとかぎ
みなまの、お力添えを11月号の編集を、ようやく終えました。校止りをあみつつ、すこしでも、いっしょに力を吸収することができれば、それだけでも、幸せと思いました。

全県公民館大会にはじめて参加してみました。女性の参加者は、やはりチカラホブですが、新潟県からも、現場の女性の参加者が、あったら、よかったのにと願います。

× ×

本田事務局長のエシプト土産と写真が、県公運事務局に山積みされています。どうぞ、おたのしみください。(等)